

環境コミュニケーション

すべての従業員の環境意識を高めるとともに、地域の皆様への情報公開を積極的に行っています。

全社員による環境活動推進のため、社員一人ひとりの環境意識を高めるための各種啓発活動や教育を行っています。また地域の住民や企業に対しても、工場見学会の実施や環境・社会報告書の発行などを通じて、積極的なコミュニケーションをはかっています。

社員への啓発活動

日常的に環境を意識し、自ら行動できるようにすることを目標に、全社員に対してさまざまな啓発活動を行いました。今後もレベルアップを目指し、この活動を維持継続していきます。

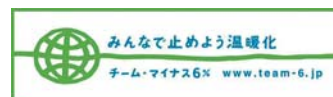
主な取り組み事項

エコツアーの開催

CO₂低減優秀事例表彰

ポスター掲示・ニュース発行

クールビズ・ウォームビズの奨励



国民運動「チーム・マイナス6%」へ参加



省エネポスター(冬版)



省エネルギーニュース(冬版)

地域懇談会の開催

各工場にて、地域の方々(近隣市町村の区長、地域住民など)を対象に地域懇談会を開催しました。工場見学などを通じ、当社環境活動の理解を深めてもらうとともに地域住民との意見交換をはかりました。



地域懇談会(音羽工場)

環境教育の実施

環境保全の概要からISO14001、当社の環境方針や取り組み、社員各自の役割など、環境に関する広範な社員教育を実施しています。特に、環境関連業務の関係者に対しては、外部機関主催の内部環境監査員研修や環境審査員養成コースなども活用して専門知識の向上を奨励しています。2007年度は、新入社員(約220名)に対して、環境に対する基礎知識を身につけてもらうための教育を行いました。

講習修了者・資格保有者(カッコ内は07年度の数)

環境審査員養成コース修了者	8名(1名)
内部環境監査員養成コース修了者	162名(22名)
公害防止管理者	77名(3名)
特別管理産業廃棄物管理責任者	34名(10名)
エネルギー管理士	8名(1名)

環境教育コース

環境重要設備従事者* 操作手順、維持管理のポイント、異常時対応、緊急時対応手順・訓練について	一般社員 環境方針と自職場の環境側面、各自の役割について	海外赴任者 海外赴任にあたり、現地でのISO14001認証取得への取り組みに対する基礎知識について	新入社員 環境保全の概要、東海理での取り組み、ISO14001、全社共通環境対応事項(排水、廃棄物、省エネ等)について
--	--	---	---

環境重要設備従事者
環境影響度を考慮し、当社が独自に定めた重要設備(ボイラー、コンプレッサー等)の運転・メンテナンスに従事する者